サフィズムの舷窓 THE CASE OF H・B POLARSTAR

最新作よりキャラクターデザインラフを一挙公開！



■ふろ掃除大好き企画マン　とい天津のサフィズム製作日記

○月×日～『制作スタート』

巨大豪華客船上に作られたお嬢様学園で起きたレイプ事件。濡れ衣を着せられ、退学を言い渡されたレズビアンの主人公。果たして彼女は下船の日までに真犯人を捜し当てられるのか？　フリーの新人企画者である私の案がライアーソフト第４弾として採用されたのは幸運だった。今後のためにもこの貴重な体験を日誌として記録する事にした。

○月○日～『制作スタート』

スタッフと今後の打ち合わせを行う。各種設定と仕様書の作成、会議、宣伝素材の用意など、細かな締切を記した長大なリストが完成。予想はしていたが、これからの長い道のりを思うと少し憂鬱になる。

次の日、タイトルを決定。レズビアンと、舞台が船であることを考え『サフィズムの舷窓』とした。『サフィズム』とはレズビアンと同じ女性の同性愛を意味する言葉。

その後、スタッフの割り振りを発表。シナリオ担当は、高尾登山、星空めてお、睦月たたらの３人。音楽は九十九＆長崎氏が率いる雑音工房ＮＯＩＳＥ。他の部署も今までとほぼ同じ態勢で配置を行なう。

原画家がまだ決まっていないのが気がかり。

○月△日～『設定会議１・舞台編』

舞台となるのは、一切男性の乗船を許さない、お嬢様だけの船。まずは「花のような乙女を満載した花かご」と「乙女を未来へ導く」というイメージから船名を『ハンギング・バスケット・ポーラースター』、略称を『Ｈ．Ｂ．ポーラースター』と決定。船内施設群の設定にかかるが、次第にエスカレートし、高級ブティ